

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

霊山太鼓山下太鼓保存会

霊山太鼓保存会遠征組

八島 ^{まさる} 勝 さん（霊山地域）

小さな頃に霊山太鼓に出会い、35年以上太鼓を叩いてきた八島勝さん。遠征組として活躍し、太鼓をかつこよく叩きたい一心で誰よりも探究心のある八島さんに、霊山太鼓の出会いや魅力を伺った。



霊山太鼓との出会い

私の幼少期は、まだ「霊山太鼓」という言葉がなく、「山下太鼓保存会」もありませんでした。太鼓が盛んではなく、父や地域の方々が、地域で唯一太鼓を叩く佐藤利太郎（としまつ）さんに教えてもらったのが始まりだったと記憶しています。また、その時期に霊山太鼓まつりが始まったと思います。父や先に覚えた先輩たちに教わって、私の太鼓人生がスタートしました。

衝撃の出会い

私が太鼓にのめり込み、今もなお、太鼓への探究心を掻き立てる根底には、太鼓をかつこよく叩く打ち手との出会いがありました。まだ小学生だった頃



Profile ● やしま まさる

1977年生まれ。小学校2年生の時に、父や地域の打ち手から指導を受け、霊山太鼓の打ち手として歩み始める。今でも鏡の前でエアー太鼓をし、研究するほど太鼓への熱い思いを持つ。先駆けとして甚句（盆踊りの太鼓）の小太鼓でバチを回し始め、霊山太鼓のスタンダードを変える。見る人を魅了する太鼓、新しい作（※）など、探究心を持ち、太鼓熱が冷めることはない。

に、山下太鼓保存会の遠征の

助っ人としてきてくれた大石地

区の日下響（ひげ）さんの姿は衝撃でし

た。おじいさんなのに、誰より

もかつこよく叩き、腕が円を描

くように高く上げ、バチが回る

ように見えた打ち方に憧れ、痺

れました。その後にも、先輩の

寺島裕規（ひろき）さん、菅野宏晴（こうせい）さんの

バチさばきに驚き、目標のよう

な存在となりました。この3人

との出会いが私の太鼓に大きな

影響を与えてくれました。

太鼓は楽しい

3年ぶりに霊山太鼓まつりが開催されましたが、太鼓を愛する仲間にもたえて、一緒に気持ちに合わせて叩く太鼓は楽しいし、うれしい。呼吸が合って盛り上がる一体感は、太鼓なら

ではだと思いません。太鼓は一人では盛り上がりません。仲間がいるから盛り上がるし、同じ思いの仲間がいるから、この一体感を味わえます。太鼓を通してつながった仲間との深い絆は私の財産です。

息子も太鼓を叩くようになり、父から3代に渡り太鼓を伝承することができました。この楽しい太鼓を絶やさず伝承していくために、地元の人だけにこだわらず、やりたい人と続けていきたいと思っています。伊達市には、同じような太鼓が保存継承されています。伊達といたら「太鼓」といえるほど、地域の宝だと思うので、みんなで協力して大事にしていきたいです。



8月21日の霊山太鼓まつりで、遠征組として力強く太鼓を打つ八島さん

※作：基本のリズムまたは裏に合わせ叩くオリジナルの叩き方（技）